

第48回「議員と語り合い」報告書

地域テーマ型 2班(No.1)

開催日	令和7年1月24日(金曜日) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	旧田中家別邸		
団体名	個人参加(福山地区)	参加 人員	11人 (男 10人:女 1人)
出席議員	久木田 大和、阿多 己清、松枝 正浩、徳田 修和、宮内 博、藤田 直仁、竹下 智行、宮田 竜二、傍聴(有村 隆志)		
役割分担	班長(久木田 大和)、副班長(阿多 己清)、記録係(宮田 竜二)		
テーマ及び 具体的な内容	どうする福山のまち		

意見 交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆サルの被害が甚大(果樹園全滅)。11、12月は、物産館にミカンが出荷できず、お客さんから苦情があった。果樹園を廃業する住民もでてきた。 昨年は、サル17匹、アナグマ38匹、イノシシ20匹を捕獲(今年はずでにサル3匹捕獲) 箱罠が6個しかない⇒増やしてほしい。
	◇箱罠を増やすのはすぐには無理かもしれないが、市に福山大廻地区からの要望として伝える。
	◆R6年度は、サルにGPSを付けて対策をする予算が計上されたが、状況は。
	◇市が解析をしている。情報がまとまり次第、説明会があると思われる。
	◆せっかく予算を組んだ事業なので、結果を住民に知らせてほしい。
	◆大廻地区の高齢化率は、69.2%である。少子高齢化で、自治会の存続が危うい。市はどのような対策をしているのか。
	◇先日の議員研修では、人口増加は望めない。少子高齢化、人口減少でも市民が幸せに暮らせる取組にシフトすべきであると講師から学んだ。
	◇子育ての環境として、子ども医療費の所得制限撤廃など市も取り組んでいる。皆さんの意見を汲み取って対応したい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇移住者の方の意見も聴きたいがどうか。

◆2020年に移住した。インターネットを利用した仕事をしている。福山は、海や山などの自然環境が魅力で、空港が近く、古民家が気に入った。発達障害や支援が必要な子どもたちを、来年度から休校になる福山小学校に呼び込むような事業をしてはどうか。霧島市の空き家バンク制度で住居をみつけることができよかった。

◆福山地区の伝統芸能(神楽)をしている。福岡から移住した理由は、海があり、釣りができて、とても魅力があるからである。祭りを通して地域が元気になればいい。今年も神楽を企画したい。

◆国分・隼人は若い人が多い。福山のような中山間地域も住みやすいので、アピールした方がいい。

◇この旧田中家別邸は、どのような使われかたをしているのか。

◆あまり活用されていない。

◆宿泊施設にと考えたが、防火対策が必要で、歴史のある文化財家屋に手を加えられず、断念した。

◆亀割峠にトンネルができるが、計画では海側に歩道が無い。昔、若尊鼻には福山から歩道があったが、台風で消失した。海側にも歩道を作れば、観光客が増えるのでは。ジオパークに抵触するので福山から歩道はできないとの行政回答だった。

◇若尊鼻は、国立公園なので、開発が難しいと思う。

◆少しだが、定年になった出身者が福山に戻ってきている。若い出身者は、実家があっても働き場所がないので戻ってくる人がいない。

◇少子高齢化で、自治会の存続が危ういとのことだが、福山中央地区、大廻地区、小廻地区で自治会を統合する考えはないか。

◆大廻地区自治会では、今まで小さな自治会と話し合いを十分行い、合併してきた。これ以上の再編成には、各自治会が所有している資産の取扱いが大きな問題となり、話し合いが困難である。

意見交換での主な意見等